



琳派を意識して制作されたタペストリーが並ぶ「琳派に遊ぶ展」

タペストリーや万華鏡
琳派作品を意識
あふれる遊び心

フォンテ、24日まで展示

「琳派に遊ぶ展」が、秋田市の秋田公立美術大学サテライトセンター（フォンテAK I T A 6階）で開かれている。京都デザイン協会の会員らが琳派の作品を意識して制作したタペストリー28点や、万華鏡14点を展示し、来場者の目を楽ませている。24日まで。

あきた川反ルネサンス・プ

ロジエクト推進委員会と京都デザイン協会の共催。琳派を生んだ本阿弥光悦が徳川家康

から京都洛北の鷹峯の地を拝領してから今年で400年になるのに合わせ、同協会の会員展を企画した。

来場した秋田市南通の松村和栄さん(47)は「遊び心があり、見ていて楽しい」と話した。

入場無料。午前10時～午後8時(最終日は3時)。

(斎藤稜)